



取手駅東口前

「JR取手駅東口構内」 バリアフリー化

過大な西口開発の無駄なくして



市議会議員 加増みつ子



市議会議員 小池えつ子

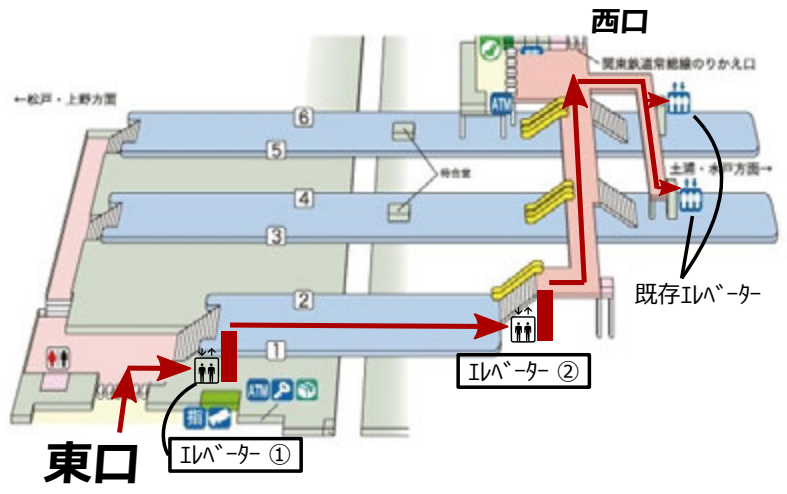
1・2番線(千代田線)ホームに エレベーター設置案

取手市は、2015年JRに委託した調査により、2017年に「取手駅東口構内バリアフリールート」(4案)を公表しました。昨年12月議会では、JRの、1・2番線のホームドア設置計画に合わせて、エレベーターを設置する案(右図JR案)で進める方向性を示していました。

今年、6月議会での日本共産党議員の質問に、「1・2番線ホームにエレベーターを設置するルートでJRと合意し、JRが本年度設計を行う」と市長が答弁しました。

【取手市・JR合意案(当初JR提案)】

概算工事費 6億6,900万円(市補助 2億2,300万円)

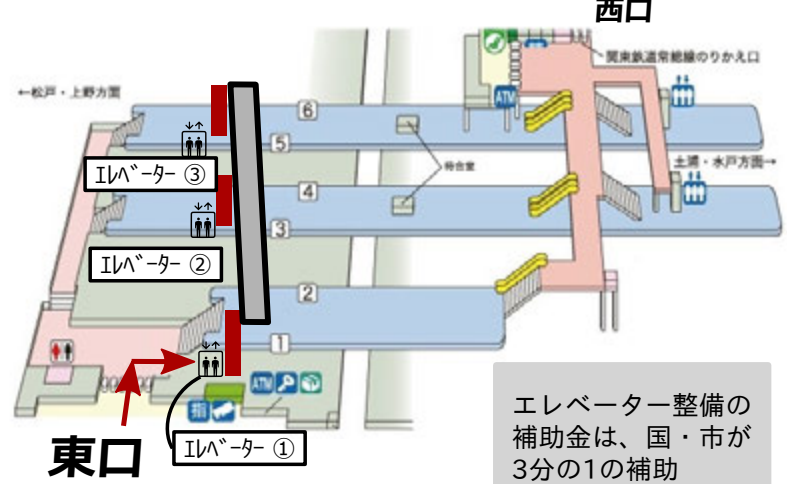


JRと市の合意案 あなたは歓迎できますか

JRと市の合意案は、当初の4案中最も安い費用で賄える反面、乗降客が一番少ないホームへの設置で利用頻度が少なく、移動経路が西口改札付近を経由することで遠回りです。東口利用者のバリアフリー(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)要求を満たすには不十分すぎるものです。

こちらの方が便利(当初取手市提案)

概算工事費 16億1,200万円(市補助 5億3,733万円)



利用者・住民と日本共産党 安全・便利なバリアフリーへ粘り強く

日本共産党は、JR利用者・住民の皆さんと取手市や国土交通省、JRに対し数千名の署名を届けるなど力を合わせ、安全で便利なバリアフリールートの早期整備を求め行動してきました。日本共産党は、できる限り近く、平らに移動できるバリアフリーの目的にふさわしい移動経路の整備を求めています。

通称芸大通り「台宿工区」整備完成 間もなく(渋滞解消へ)

取手東部方面とJR取手駅を結ぶ生活幹線道路347号線の「台宿工区」(台宿坂上交差点～海老原整形前)工事は、今年、2019年度中完成予定(事業費4億円)。台宿坂上交差点改良で、朝夕の渋滞解消が期待されます。

日本共産党は地域住民の皆さんと力を合わせ、暫定的な安全対策と早期整備を求め、やっとここまで来ました。さらに青柳までの整備完成が急がれます。



工事区間概略図：
(整備後の道路幅員は18メートル)

工事中の台宿坂上交差点付近